



『移住相談担当初任者研修会』を開催しました！！

5月14日(水)、山形県各市町村の移住相談体制の充実のため、新たに移住・定住業務に着任された方等を対象としたオンライン研修会を開催しました。

本研修会は、市町村の皆さんから「どのように相談対応したらよいかわからない。」「相談対応は経験によるところが大きく、学びの場が欲しい。」等の声を受け、令和3年度から開催しているもので、今年度も引き続き認定NPO法人ふるさと回帰支援センターから講師をお招きしました。

5回目となる今年度は、地方移住をめぐる現状をふまえた移住相談の基礎やポイント、最近のセミナームーブメントの傾向、東京窓口における最近の相談状況等についてお話しいただきました。さらに、相談対応時の説明と傾聴の比率や、『仕事があれば移住する』といった方への相談対応に関する質問にもお答えいただき、質問者からは「相談者とお話をする際は傾聴することが大切と聞き、今後心がけていきたい。」というコメントがありました。

また、イベント出展時の相談対応やブースの装飾についてもアドバイスをいただき、参加者からは「様々な支援策をアピールしたくなるが、まずは相手がどのような構想やイメージをもっているか把握するのが大切だと感じた。」「町のPRだけではなく移住のイメージがより具体化するような対応をしていきたい。」などの声が寄せられ、好評を得ることができました。

移住相談担当としての心得を改めて確認でき、6月からのイベントや日々の相談対応に向けて準備していくための有意義な時間となりました。

【研修会の内容】

1 「移住相談対応のポイントとイベント開催時のアドバイス」

講師 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
相談部門 東日本担当部長 高倉 久代 氏
内容 ～地方移住をめぐる現状～

2 「東京窓口における最近の相談の状況について」

発表者 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
移住コンシェルジュ 多田 曜子 氏



▲研修会の様子（講師）



▲多田コンシェルジュによる事例発表